

令和6年4月8日
独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター長 川森 大輔
経営サポートセンター
リサーチグループリーダー 松本 庄平
担当 濱谷・上野 (電話) 03-3438-9932
(FAX) 03-3438-0371

社会福祉法人経営動向調査（2024年3月）の結果について

独立行政法人福祉医療機構では、四半期毎（3月、6月、9月、12月）に社会福祉法人経営動向調査を実施しています。今回は2024年3月に実施した本調査の結果についてご報告します。
詳細はホームページ(<https://www.wam.go.jp/hp/sh-survey/>)に掲載しております。

1. 調査の概要

- 対象：特別養護老人ホーム（以下「特養」という。）を運営する社会福祉法人530法人
- 調査事項：社会福祉法人および特養の業況、資金繰り、従事者数等に関する現在の状況と3ヶ月後の先行き予測、2023年度の経営状況
- 回答数：376
- 有効回答数：376
- 有効回答率：70.9%
- 実施期間：2024年3月1日（金）～2024年3月22日（金）
- 実施方法：Web上で実施
- 集計方法：DI（景気変動を判断するための指標。各項目の第1選択肢の回答割合から第3選択肢の回答割合を差し引いて算出）に加工・集計して公表

2. 調査の結果

【社会福祉法人の動向】

- 業況のDIは、前回調査から2%ポイント低下し、 $\Delta 16$ となった。
- サービス活動収益のDIは、前回調査から4%ポイント低下し、 $\Delta 16$ となった。
- 資金繰りのDIは、前回調査から1%ポイント低下し、 $\Delta 20$ となった。
- 従業員数のDIは、前回調査とほぼ同水準の、 $\Delta 67$ となった。
- 経営上の課題として「人件費の増加」を挙げた法人は、前回調査から1.1ポイント上昇し、62.5%となった。
(P.8「3-1 社会福祉法人全体」を参照)

【特養の動向】

- サービス活動収益のDIは、前回調査とほぼ同水準の、 $\Delta 13$ となった。
- サービス活動収支（黒字・赤字）のDIは、前回調査から5%ポイント低下し、 $\Delta 5$ となった。
- 施設全体の従業員数のDIは、前回調査から3%ポイント低下し、 $\Delta 65$ となった。

【その他の調査項目】

- 2023年度のサービス活動収益は、前年度（2022年度）比で増加見込みの施設が14.7%、減少見込みの施設が25.1%となった。また、サービス活動増減差額は、増加見込みの施設が15.3%、減少見込みの施設が32.0%となった。

以上